

令和5年度 へき地・小規模校教育研究発表会の御案内

研究主題

「ふるさとに夢や誇りをもって、 未来の創り手となる子供の育成」

東京都の多摩・島しょ地域の学校では、地域の特性を生かした特色ある教育活動や小規模校の利点を生かした授業研究が行われています。

東京都教育委員会では、東京都へき地教育研究協議会との共催により、へき地・小規模校における教育課題の解決に向けた教育実践の成果を発表します。この研究発表会を通して、広く教育関係者の理解と関心を深めるとともに、へき地・小規模校の課題を踏まえ、教職員が一体となって組織的に取り組む教育の在り方を明らかにします。



奥多摩町の自然（奥多摩湖）



三宅村の自然（伊豆岬灯台）

- 日時 令和5年 **8月1日（火）**
午後1時30分から午後4時30分まで（受付開始 午後1時）
- 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター（小ホール）
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

研究発表会次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 研究発表
 - (1) 奥多摩町立古里小学校
「自分の考えをもち、表現できる児童の育成
—基礎的・基本的な学力の定着を目指して—」
 - (2) 三宅村立三宅中学校
「学習者用端末とアダプティブ教材を活用したへき地教育の実践
—個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による学力向上—」
- 5 研究協議
- 6 講演
演題 「ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子供の育成」
講師 帝京大学教育学部教育文化学科 教授 増淵 達夫 先生
- 7 閉 会

参加申込・問合せ先

参加申し込み：Microsoft Formsによる申込み（7/14（金）まで）
<https://forms.office.com/r/TUBqxAHi8R>
（定員（300人）になり次第、締切とさせていただきます。）

問合せ先：東京都教育庁指導部指導企画課 電話 03-5320-6869



発表校の概要

○ 奥多摩町立古里小学校

「自分の考えをもち、表現できる児童の育成

—基礎的・基本的な学力の定着を目指して—

本校は、コミュニティ・スクールによる地域人材の積極的な活用により、地域の自然や文化を生かした各種体験学習を充実させています。児童の興味・関心を高めるとともに、郷土を愛する心の育成を図っています。

研究主題に迫るため、基礎的・基本的な学力の定着を目指すとともに、「児童が自分の考えをもつための手だて」、「児童が適切に表現するための手だて」が必要であると考え、校内 OJT を活用した授業参観や検証授業を通して、授業改善を図りました。また町の伝統芸能を扱った授業等、「考えたくなる」、「表現したくなる活動」を設定し、考えや思いを表現する力の育成を目指しました。



自分の考えを伝え合う児童の様子

○ 三宅村立三宅中学校

「学習者用端末とアダプティブ教材を活用したへき地教育の実践

—個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による学力向上—

本校は全校生徒 42 名の学校です。本島では、保小中高一貫教育を進めています。その推進委員会の調査において、知識の定着のための学習時間の確保と、主体的に考え表現する姿勢の構築が課題であることが確認されました。そこで、本校では、自ら学びに向かう姿勢とすすんで表現する力を高めるためのシステムの構築や ICT を用いた授業の改善を図ることを目標にしました。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の二つの視点から AI 機能を搭載したアダプティブ教材や学習管理表の活用及び各教科の授業でのデジタル化を推進し、課題の解決にむけて研究を進めました。



学習者用端末を活用した授業

会場案内



< 最寄り駅 >

- 小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩約 7 分
- 地下鉄千代田線「代々木公園駅」下車
(代々木公園方面 4 番出口) 徒歩約 10 分
- 京王バス
 - 新宿駅西口 (16 番) より
代々木 5 丁目下車すぐ
 - 渋谷駅西口 (40 番) より
代々木 5 丁目下車すぐ

主催 東京都教育委員会
東京都へき地教育研究協議会